

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所 特定原子力施設 使用済燃料貯蔵ラックの使用前検査に関する面談

2. 日時：令和2年4月24日 10時55分～11時18分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

検査グループ 専門検査部門

宮崎上席原子力専門検査官

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

山中係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部 3号燃料取り出しPJグループ担当

他2名

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所 特定原子力施設 使用済燃料共用プール設備 使用済燃料貯蔵ラック（25体）の使用前検査のうち使用済燃料貯蔵ラック挿入検査の方法について確認するため、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）より、資料に基づき以下の説明があった。

- ・使用済燃料貯蔵ラック挿入検査に使用する試験用収納缶の許容寸法は、幅：244mm（+0.5mm、-0mm）で、試験用収納缶の着底状況をカメラで確認するためのマーキング：下端から4500mm以上
- ・使用済燃料貯蔵ラック挿入検査の手順として試験用収納缶の着底状況をマーキング位置により確認する。
- ・検査実施時期は5月中旬から下旬である。

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス（株）から説明のあった内容について確認し、必要に応じ使用前検査実施要領に反映する旨伝えた。

6. その他

資料 なし